

(様式1)

作成日 平成 26 年 6 月 5 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490200320		
法人名	メディカルサービス廿日市		
事業所名	グループホーム南観音ひまわり		
所在地	広島市西区南観音6丁目3-31 (電話) 082-295-3717		
自己評価作成日	平成26年4月1日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200320-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490200320-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年5月27日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

交通の利便性がよく、平地に建てられたグループホームである。散歩、買物も行きやすく、便利でありながら、比較的静かな環境の中に建てられたグループホームである。母体は医療法人であり、入居者の方の体調管理など連携を取りながら行っている。また、ご本人、ご家族の希望により関連病院と連携し看取り介護を実施している。入居前の生活をイメージして、グループホームに入居しても継続できる事は、出来る限り続けて頂けるように支援している。外部との繋がりを重視し、入居者の方と共に挨拶まわりを行い、近隣の保育園、小学校との交流も実現した。地域行事への参加や外出の機会を積極的に作っている。また、ご家族様には毎月お手紙と、面会時にはカルテに目を通して頂き、何かあればその都度連絡を行いながら、入居者様と一緒に支える体制づくりを行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

地域との交流を大切にしており、事業所から保育園へ訪問し、音楽観賞会への参加が実現したり、近所の人や近くの小学校に通学する子供との挨拶で交流も深め、時には馴染みの小学生の訪問もある。定期的に「ねぎっこ通信」を地域へ回覧し、事業所の取り組みを紹介すると共に地域行事への参加の機会を積極的に作り、地域住民との絆作りも深まりを見せている。また、母体は医療法人であり、利用者の健康管理については関係の協力医療機関と連携を取りながら支援し、家族の希望により看取り介護も経験し、振り返る中で、職員の意識も深化しつつある。この事業所では、利用者の皆さんが落ち着いて過ごせるように、木のぬくもりと安全に配慮した丸みのある造作、程良い高さの椅子と食卓などを設けている。また、職員は利用者とはゆっくり話す時間を作り、その方の思いを把握し、行動を理解し、利用者を温かく笑顔で見守るよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を毎朝、朝礼時に唱和することにより理念を意識し実践できるようにしている。	毎年、職員からのアンケートを集約し、ケア目標を作成している。今年度は、利用者の意志・選択・決定を大切に、その人らしさを支援することなどが挙げられている。理念と介護職基本姿勢10項目も唱和し、共有化と実践につなげている。また、毎月の全体カンファレンスで理念・目標の達成評価も行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事には積極的に参加している。運営推進会議やグループホームの新聞を活用し交流をはかっている。	町内会長や運営推進会議のメンバーとの情報交換により、祭りや敬老会など地域行事へ積極的に関わっている。また、近くの高速度道路の開通式にも参加した。2年間の働き掛けで、保育園の音楽観賞会での交流が始まった。近所の人や近くの小学校に通学する子供との挨拶で交流も深まり、職員の意識も上がってきた。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症ケアの専門職として地域行事を通じて、認知症の理解や支援方法を伝えている。また、実習生やボランティアの受け入れを積極的におこなっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1度開催している。ご家族様、町内会長、民生委員、地域包括、近隣介護施設の職員に参加していただいている。ご意見、ご要望をお聞きし迅速に対応している。	運営推進会議には毎回数名の家族が出席し、地域住民代表として、町内会長、民生委員、地域包括支援センター長なども参加している。意見等をサービス向上に活かす努力も為され、議事録は全家族に送付し報告している。年末の会議は家族会とクリスマス会も同日開催とし、家族の参加を得やすい工夫も為されている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	広島市の主催する研修にできる限り参加している。行政に分からないことは問い合わせし理解に努めている。	運営推進会議には毎回、地域包括支援センター長が参加し、情報の共有化が図られている。また、毎回、同会議の案内や議事録を区担当者に送付し、良好な関係を築くように努め、一昨年度は区職員の参加を得た。更に、同センター長の橋渡しで、地区医師会の勉強会に参加し、情報交換の場を得ることもできた。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>関連法人グループにて年に2回の身体拘束に関する研修をおこなっている。帰宅の訴えや徘徊についても無理には止めず時間をかけ対応している。日中はでき限り施錠をしないでに対応している。</p>	<p>玄関にはチャイムを設置し、施錠せずに見守りをしながら、徘徊等に対してはドライブや散歩に同行して対応している。また、関連法人グループにて年に2回の身体拘束に関する研修を行い、拘束の疑似体験をして理解を深めたり、参加できなかった職員にもDVDを利用して自己学習できるよう工夫もされている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>関連法人グループにて年に2回の虐待に関する研修をおこなっている。入浴時は全身観察しささいな変化にも目を配っている。目上の方に対する言葉遣いを心がけ、虐待にあたるであろう行為にを意識しながら関わらせていただいている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>関連法人内の勉強会に参加し権利擁護に関する内容を学び意識している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者、職員を交えて説明をおこなっている。細かい部分についても事前に説明し有無の確認をしている。リスクマネジメント、苦情、要望については対応方法を文章で説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>施設入口に意見箱を設置している。話やすい雰囲気作り心がけ、意見や要望があれば書類にし全体カンファレンス、サービス向上委員会にて話し合い原因究明、再発防止に努めている。</p>	<p>面会時や家族会、運営推進会議などで、利用者毎の担当職員や管理者から積極的に家族の意見、要望を聞くように努めている。家族からの苦情は、苦情記録に記載し、その対応については、毎月の全体カンファレンスや関連法人グループのサービス向上委員会にて情報を共有し、職員間で対応策を周知させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度は必ず全体カンファレンスをおこなっている。欠席者については事前に書類参加にて意見を出してもらっている。カンファレンスの内容については迅速に書類にして回覧している。	各ユニットはテーマを決めて、随時カンファレンスを実施し、月1回の全体カンファレンスでは、書類参加も含め、必ず職員一人ひとりの意見を聞いている。2か月に1回、関連法人グループの全6グループホームのホーム長会議もあり、情報の共有化や職員が自由に意見を言える環境が整っており、職員の自覚もある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に2回人事考課を実施している。反省や個人目標について面接をおこなっている。職員の人間関係、個別にか抱える問題を把握し対応している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設外の研修に参加した場合は報告書を作成し他職員にフィードバックしている。また、施設内の研修に参加できない場合はDVDを作成し全員が参加できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	外部研修の機会を増やし、同業者との交流をはかりながら良い取り組みや情報については積極的に取り入れるよう努力している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居者様の生活状況などを把握している。入居者様の訴えを傾聴し、ご本人が求めていることや不安を理解しようと努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>面会時に入居者様の日常生活を見ていただきグループホームでその方に応じた日常生活を安心して過ごしていただける様に寄り添い支え職員で共有している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人、ご家族様の希望されていることを知るためにも連絡、報告をこまめにおこない、考え、想いを理解し可能な限り対応するようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>個人の尊厳を尊重し信頼関係を深めている。生活上のお手伝いを行うだけではなく料理や畑仕事等教わる部分も多く、ともに支えあう関係を意識している。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>本人の状況、ホーム内外での出来事、行事のご案内など毎月1度は介護記録に目を通していただけるようにしている。ご本人の誕生日には家族の方に相談し一緒に祝いができるよう工夫している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>本人、家族様のご意向をお聞きし、馴染みの知人や友人に面会をお願いし交流をもてるようにしている。思い出の場所やご自宅に出かけられるよう外出計画を立てている。</p>	<p>家族が修行したそば打ちを利用者の前で披露し、会食したり、昔の職場の料理店を訪問したり、足が不自由で普段行けない自宅を訪問し食事をしたり、終末期にある利用者の友人に訪問してもらい、交流をしたりしている。母の日に花が届き、自筆の礼状と写真を送付するなど馴染みの関係が途切れないよう支援に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う入居者様と共に過ごして頂ける様になっている。季節に応じた外出やレクリエーションを実施し支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去後についても本人、家族の意向を確認しながら相談の上、同法人全体でバックアップしている。実際、看取り後にも他入居者様の顔を見に来る為に足しげくホームに来られる家族様あり。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で声をかけ思いの把握に努めている。意思疎通が困難な方にはご家族やから情報を得るようにしている。	できるだけ利用者とゆっくり話す機会を設け、利用者の思いを把握する様にしている。利用者毎に担当者を決め、利用者の思いをケアプランに反映するようにしている。当初の情報では外出好きと思われていたが、実は部屋でゆっくりしたい思いがあったり、また逆に本人から外出希望が出るようにもなった例もある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご本人、ご家族様、ケアマネージャーなど本人をよく知る人から情報をもらいグループホームでの生活につなげている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	その日の過ごし方や本人の状態を全員で確認し記録するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>1か月～3か月ごとに見直しをおこなっている。本人や家族には日頃のかかわりのなかで思いや意見を聞き反映させるようにしている。アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスをおこなっている。</p>	<p>利用者毎の担当の職員が、利用者や家族の意向を基に原案を作成し、介護計画作成時には、ケアカンファレンスを開催して関係者の意見を参考に職員全員で検討している。モニタリングは毎日、介護記録確認表に記入し実施している。面会時に計画の説明や次回の案内をするなど、家族との関係作りに留意している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個々のファイルを活用し、ケアの実施状況、ご本人の発言、行動を記録し、その時の気づきも記入した上でカンファレンスでの見直しに活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人の状態や家族の意向に配慮しながら臨機応変に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議に地域包括支援センターの職員や町内会長、民生委員に参加していただき周辺情報や支援に関する情報交換、協力関係を築いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間に一回定期受診を行っており、主治医には経過を報告している。必要に応じて家族の方にも受診の付き添いをお願いしている。</p>	<p>現在は全員が協力医療機関をかかりつけ医とし、2週間毎に受診している。また、半年毎に協力医療機関でCT検査、心電図検査等を実施し、家族へ結果を報告している。その受診情報は、利用者別ファイルの受診表と連絡ノートで情報の共有化を図っている。また、入居時には家族に、必要時の受診への協力を依頼している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>体調不良や些細な表情の変化を見逃さないよう早期発見に取り組み変化等に気付いたことがあれば看護職に報告し適切な医療につなげている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、また、ご家族に回復情報等の情報交換しながら退院支援につなげている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人、家族のご意向を踏まえ、主治医、看護職との連携をとり対応できるケアについて説明を行っている。現在、2名の入居者様の看取り介護をさせていただいている。</p>	<p>入居契約時には、「看取りの指針」を家族に説明し、了承してもらっている。重度化した際には、家族・医師を交えて話し合いを行い、適切な支援を行う考えである。「看取りのマニュアル」も整備され、研修や2名の看取り介護を経験し、振り返る中で、職員の意識も深化しつつある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時の対応についてマニュアルはあるが、応急処置の訓練は行えていない。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>マニュアルを作成し、消防職員、家族様の立会いの避難訓練を年に一度おこなっている。また、職員、入居様の訓練を毎月おこなっている。</p>	<p>年1回、消防職員、家族の立会いの避難訓練と毎月、火災を想定して夜間帯、日勤帯を想定した避難訓練を実施し、行政にも報告している。また、日々の意識作りのため、「高齢者施設大規模災害対策」の研修や手順書・緊急連絡網などのソフト面や火災報知機・防災備品などのハード面を整備し災害に備えている。</p>	<p>大規模災害対策も整備されつつあるが、今秋に開催される町内の防災訓練なども活用し、相互の役割・手順など、近隣地域とのより具体的な協力体制作りを推進することを期待したい。また、ハード面についても、必要な防災備品を本部長会議でも検討中であり、備蓄の確保なども含め、更なる充実を期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	援助が必要な時も本人の気持ち大切に考えてさりげないケアを心がけてたり自己決定しやすい言葉かけをに努めている。	毎月の全体カンファレンスの中で、コミュニケーションの研修を行い、日々の問いかけを繰り返す中で意識付けがなされている。特に入浴時や排泄時などの言葉かけでは誇りやプライバシーを損ねないように配慮されている。また、申し送りの際なども匿名化して個人情報大切に扱うように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	些細なことでも複数の選択肢を提案して一人ひとりの利用者様が自己決定できる場面をつくるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大切にしそれに合わせた対応を心がけている。行きたい場所に外出したりゆったりできる場所をつくるなど個別対応に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	個々の生活習慣に合わせた支援をし訪問美容で希望に合わせたカットや毛染めをしてもらうように連携をとっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理、盛り付け、片づけ等も利用者と共に職員と利用者が同じテーブルを囲んで楽しく食事できるように雰囲気づくりも大切にしている。	ホームの畑で採れた野菜が食卓に上ったり、使い易い好みの食器や箸を使用し、テーブルとイスは食事しやすい高さや重さに調整されている。時々、出前や外食を探り入れ、食事を楽しめる工夫もされている。週に2回、利用者と食材の買い出しに行ったり、食事の準備や片付けを一緒に行い、会食を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	一人ひとりの食事摂取量や水分量など把握している。栄養バランスだけでなく食事形態も考え、本人が食べやすい物を支援している。必要な時は主治医に補助食の相談し対応している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後の口腔ケアを行っている。なるべく自分でしていただき介助が必要な時は行っている。口腔ケアの重要性を勉強会等で理解し、誤嚥性肺炎などの防止に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、なるべくトイレで排泄していただくようにしている。	出来るだけトイレで排泄してもらうように、各人の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行い、ポータブルトイレは状況により使用している。常時のオムツ対応は避け、パンツと併用し、必要時のみオムツを使用している。オムツが外れたり、紙パンツから布パンツに改善された例など、自立に向けた支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	日々の排泄記録から便秘気味の方には乳製品を提供したり、食事には食物繊維を取り入れた食事作りに心がけている。また、体を動かすことの大切さを常に意識するように心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。	日勤帯ではあるが、本人のタイミングで入浴して頂くようにしている。冬季は脱衣所の温度に注意している。季節を感じてもらうためにゆず湯なども行っている。	入浴を単なる保清の場ではなく、コミュニケーションの場としての意識も持って関わっている。10時から16時の時間帯で、希望により毎日の入浴も可能である。お風呂嫌いの利用者には、清拭や足浴で対応したり、家族の協力を得て何とか入れるようになった例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	リビングにソファや本人のリクライニング等を置き、休息できるようにしている。居室で過ごす方には自分の時間も大切にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	職員全員が把握できるよう表を作っている。日付け、名前を2重3重に確認して服用していただき変更があればその都度、更新している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	一人ひとりの楽しみごとを聞き、好きなことをして頂いている。役割についても分担して無理なくしていただいている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本人の誕生日や季節に応じた外出を計画している。行きた所や地域の行事にも参加したりと積極的に外出を計画している。その日よっての希望にもできる限り対応している	一人ひとりのその日の希望に添って、普段から戸外に出かけられるよう支援している。本人の誕生日に合わせ、希望に添って野球観戦、釣り堀、買い物、家族との夕食などに出かけている。また、季節に応じ、初詣、お祭り、敬老会や高速道路の開通式など地域行事への参加や温泉地での紅葉狩りなども楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人、ご家族の希望があれば財布を金庫でお預かりしている。買い物で支払いをされる場合は職員見守りの上、支払いをしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の希望があれば電話できるようにしている。年末には、年賀状を家族、友人に送っている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>過ごしやすいうように写真や手作り作品を飾ったりしている。居室やリビングの家具の配置にも気を配っている。</p>	<p>握り易い矩形状に工夫された廊下手すりや足底がしっかり床につくように組み合わせられたイスとテーブルなどは、過去4つのグループホーム開設の経験が活かされた設計となっている。利用者が落ち着いて過ごせるように、木の温もりのあるリビングには、その季節に合った利用者の作品が飾り付けられている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングのテレビ前にソファを置いたり廊下にも椅子を配置し談話スペースを作っている。事務所前にも椅子を置いて職員とも談話しやすい環境を作っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>たんす、椅子、テレビや写真など使い慣れた物を持参していただくように家族にもお願いしている。</p>	<p>利用者が落ち着いて過ごせるように、今までの生活環境にできるだけ近い、空間づくりに配慮している。テレビ、ベッド、家具、仏壇、使い慣れた小物や家族の写真・ぬいぐるみ等、好みの物を持ち込み不便を感じることなく、居心地よく過ごせるような工夫が為されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレの場所が分かりやすいように札となる物を入口につけている。リビングに大きな手作りのカレンダーを置いて日付けが分かるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念についての勉強会を行い、職員自らの言葉で表したケア目標を掲げ、意識している。		
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩等の外出の機会に挨拶を心がけている。地域の交流の場への積極的な参加をおこなっている。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	認知症ケアの専門職として地域行事を通じて、認知症の理解や支援方法を伝えている。また、実習生やボランティアの受け入れを積極的におこなっている。		
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に一度開催している。ご家族の方、町内会長、近隣介護施設の職員等の参加をお願いしている。家族会等の行事の際は内容について報告し、意見、要望を反映させている。		
5	4	<b>○市町との連携</b> 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	広島市の主催する研修にできる限り参加している。行政に分からないことは問い合わせし理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>関連法人グループにて年に2回の身体拘束に関する研修をおこなっている。帰宅の訴えや徘徊についても無理には止めず時間をかけ対応している。日中はでき限り施錠をずに対応している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>関連法人グループにて年に2回の虐待に関する研修をおこなっている。入浴時は全身観察しささいな変化にも目を配っている。目上の方に対する言葉遣いを心がけ、虐待にあたるであろう行為にを意識しながら関わらせていただいている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>関連法人グループにて年に2回権利擁護に関する研修をおこない職員の</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者、職員を交えて説明をおこなっている。細かい部分についても事前に説明し有無の確認をしている。リスクマネジメント、苦情、要望については対応方法を文章で説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>施設入口に意見箱を設置している。話やすい雰囲気作り心がけ、意見や要望があれば書類にし全体カンファレンス、サービス向上委員会にて話し合い原因究明、再発防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月必ずスタッフ会議・カンファレンスの時間を作り、全体を含めた情報の共有をし全員参加できるよう書類参加等工夫し、議事録を製作し全員が観覧している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年に2回の人事考課を設け、目標達成のため職員一同、日々、精進している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内・外研修を行っている。研修報告書を作成し観覧できるよう行っている。施設内研修に参加できない場合はDVDで対応し書類参加を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>外部研修の機会を増やし、年1回はイベントを行い管理者や職員、同業者との交流の場を提供し向上に努めている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居者様の様子を家族の方に報告させて頂き、本人様や家族に方のご希望に添える様、努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	面会時に入居者の日常生活を見ていただき、GHでその方に応じた日常生活を安心して過ごして頂ける様寄り添い支え、職員で情報を共有している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	介護保険サービスについての説明を行い、ご本人様とご家族の希望を話し合い、しっかりとしたサービスを行えるようケアマネージャーに相談している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	個人の尊厳を尊重し信頼関係を深める。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	中立の立場から助言しご家族へ職員により手紙での近状報告をさせて頂き、ご本人様とご家族に方が外出・外食できる場を提供している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	レクリエーションを通して馴染みの歌や外出の機会を作り支援している。ご家族にも面会や外出をお願いしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>気の合う利用者と共に過ごして頂けるように季節に応じた外出や、その方々に応じたレクリエーションを行うなど支援を行っている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>退居後についてもご本人様とご家族の方の希望に添える様、法人全体でフォローしている。</p>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人やご家族の希望を聞いたり、カンファレンスにも参加して頂き意見を伺う事もある。また、日頃の本人の行動、発言から意見をくみとるにしている。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>本人・ご家族様・ケアマネージャーに情報をもらい生活歴やサービス利用歴などの把握をしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>職員が接する中で1日の過ごし方などを把握し、記録に残したり申し送りをする事で、職員全員が状況を把握できるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	3か月に1回ケアプランを計画し、更新前と必要に応じ本人とご家族を含めたケアを行っている。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	本人の日々の体調の変化・行動・言動や食事についてなど細かく記録を行い、それに基づきご家族へ報告し、職員と共有し介護計画を行っている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	本人の身体状態やご家族の状況によって、ケアや対応を検討し柔軟に支援するようにしている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	これまでの人間関係を維持できるよう面会や外出などをすすめている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	本人とご家族の希望を踏まえた上でかかりつけ医を決めている。定期的を受診し特変があればその都度、医者に相談し指示を仰いでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>体調不良などに異常や気づきを都度、看護師に報告・相談するようにしている。その後、必要な時は受診するようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中、病院関係者に身体状況の確認を行ったり、お見舞いに行くことで本人の精神安定にも努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人、ご家族にGHでも可能なケアについて説明し理解を得た上で、終末期のケアに取り組むようにしている。主治医、看護師共に職員全員で情報を共有し支援するようにしている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>急変時の対応のマニュアルがあり職員は周知するようにしている。応急手当の定期的な訓練はしていない。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>日中、夜間を想定し火災訓練を毎月行い、全職員が対応できるよう努めている。年に1度、消防署立会いもと家族にも訓練に参加して頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	敬語を使い、丁寧な声かけに努めている。排泄や家族関係のことなどプライバシーに関わる事は言葉かけに気をつけたり、個人的に話すようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日頃の声かけでも本人の思いを聞き出すような問いかけをするようにしている。本人から訴えがあれば否定せず、受け止めるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	本人の体調や気分に合わせて食事の時間を時ずらしたり、臥床したり散歩する時間などを取るようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	以前から使用している服や化粧品を持参・購入してもらったり、散髪や髪染めも本人の希望に沿って行うようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	誕生日には本人の好きなものを作ったり日々の食事でも好みに沿ったものを提供するようになっている。畑で採れた野菜や季節の物を出すことで、食事を楽しんでもらえるよう工夫している。調理や片付けなど本人の可能なことを見つけ参加して頂くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>個々の体調に応じた食事形態絵を提供するようにしている。水分摂取量もしっかり確認し，こまめに摂ってもらうようにしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアの声かけや介助をしている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握しそれぞれのパターンで声かけや介助をすることでトイレで排泄するよう支援している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分摂取や牛乳などを提供し対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>毎日入浴介助を行っており本人の希望を聞きながら体調も見ながら声かけを行い，入浴してもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>本人のペースで休んでもらいながら日中の活動も増やし、夜間しっかり休めるように支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方された薬の個別一覧表があり変更された時も職員全員で把握して変化に気付くようにしている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>ご自分で出来ることは無理なく行って頂きそれぞれの役割となっている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>積極的に外出を計画して希望があればそれに添える様、努めている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>財布の所持は本人の希望とご家族の了解があれば行っており、使用する際は見守り声かけを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人の訴えがあれば電話での支援をしている。その他の方は手紙などで様子をお伝えしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>リビングなどで季節感ある物を飾ったり写真等で楽しんで頂けるようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>ソファや廊下の一角などに椅子を置き外を眺めていたり、談話を楽しんで頂けるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れたものをお願いしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>人に尋ねることなく自らで、分かりやすいようにトイレの場所に札をつけている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム南観音ひまわり

作成日 平成 26 年 6 月 27 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	避難訓練は行っているが、地域との明確な防災協力体制が構築出来ていない。	町内との防災協力体制を構築する。	地域の防災訓練に参加する。具体的にどのような、協力をお願いするかを、日々の訓練で明確にしていく。	12ヶ月以内
2	4	運営推進会議、家族会への参加家族が特定の方ばかりになっている。	他家族様にも参加していただけるように取り組む	入居時、面会時、等に運営推進会議の趣旨、内容について説明し参加をお願いする。開催日等についても検討する。	6ヶ月以内
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。